

工事見学会を実施しました

独立行政法人水資源機構
群馬用水管理所

独立行政法人水資源機構群馬用水管理所では、榛名幹線有馬トンネルにおいて、通水開始から40年以上が経過し、著しく劣化の進行が確認されたことから、平成26年度より群馬用水緊急改築事業を行っており、現在シールドマシンによる併設水路工事を実施しております。当管理所では、12月18日に地域住民の希望者の方々を対象に、有馬トンネル及び群馬用水の重要性を広く認識して頂くことを目的として見学会を実施しました。



説明会会場の様子

当日は晴天に恵まれ、寒さも和らいだため絶好の見学会日和となりました。見学会ではまず工事の概要を説明した後、2班に分かれて、トンネル内部の見学を実施し、シールド工法の説明を受けた後、建設機械等の説明を受けました。

トンネル内部の見学では、見学者の皆様のご熱意に押され、当初予定していたよりも奥まで見学し、ほぼ先端までトンネル内部を歩いて見学しました。滅多に見る機会が無いことから、数多くの質問を頂戴するなど、見学者の皆様からは高い関心を寄せられました。

また、併設水路工事の説明では、シールド工事の施工方法を学ぶことが出来、さらに建設機械等の説明では、実際にクレーンなどの動きを見ることが出来る貴重な機会となりました。

本見学会は、限られた人数での募集でしたが、あっという間に締切人員に達するなど、午前午後の2回とも大盛況のうちに終了しました。参加された方からは大変好意的な感想を頂戴し、現在行っている工事についての理解を深めて頂くことが出来たと感じております。最後に、本見学会の開催に当たり、ご尽力頂きました

(株)森組を初めとした施工業者の皆様には厚く御礼申し上げますとともに、参加頂きました皆様には今後ともご協力頂きますようお願いいたします。



トンネル内部を歩きました



バッテリーカーも動きました



トンネル前での説明



バックホウのダイナミックな動き



セグメントがたくさん



タイヤの動きにびっくり



最後にみなさんで

多彩で多様な農業さきえる群馬用水
赤榛を潤し、毎日の生活を支える群馬用水
6300haの農地と100万人の飲み水を潤す群馬用水